

SGX808

外部 RADIUS サーバーの利用

ヤマハ株式会社
2016年9月 第1.00版

更新履歴

更新日付	バージョン	内容
2016.09.05	1.00	初版

目次

1 概要	4
2 対応機種とファームウェアリビジョン	4
3 制限事項	4
4 設定	5
4.1 Primary RADIUS Server	5
4.1.1 IP Address	5
4.1.2 Port	6
4.1.3 Shared Secret	6
4.1.4 Session Timeout	6
4.2 Secondary RADIUS Server	6
4.2.1 IP Address	6
4.2.2 Port	6
4.2.3 Shared Secret	6
4.2.4 Session Timeout	6
5 接続例	7
6 ログ	7

1 概要

本ドキュメントは、SGX808 の外部 RADIUS サーバーを利用する機能について記述したものです。無線 LAN 接続時の認証に RADIUS サーバーを使用することができます。各 SSID にプライマリとセカンダリの 2 台の RADIUS サーバーを設定することができます。

2 対応機種とファームウェアリビジョン

SGX808 では、以下のファームウェアで本機能を利用できます。

表 2-1 対応機種とファームウェアリビジョン

機種	ファームウェア	変更点
SGX808	Rev.1.00.16 以降	新規

3 制限事項

本機能は RADIUS 認証サーバーに対応しており、RADIUS アカウントサーバーには対応していません。

(説明文中の「RADIUS サーバー」は「RADIUS 認証サーバー」を意味します。)

本機能は無線 LAN 接続時の RADIUS 認証にのみ対応しています。

4 設定

本機能は Web 設定画面の[Network]タブ内の[Wireless Settings]-[Security]のページで設定します。

“Security Mode”に“WPA2-EAP”または“WPA-EAP/WPA2-EAP”を選択したときに、RADIUS 認証を設定することができます。

The screenshot shows the 'Wireless Security/Encryption Settings' page for the SGX808 device. The page is divided into several sections:

- Select SSID:** SSID choice is set to 'SGX808_C06C4A'.
- "SGX808_C06C4A":** Security Mode is set to 'WPA2-EAP'.
- WPA:** WPA Algorithms are set to 'AES' (selected) and 'TKIPAES'. Key Renewal Interval is set to '9999' seconds (range 60 ~ 9999).
- Primary Radius Server:** This section is highlighted with a red box. It includes fields for IP Address, Port (1812), Shared Secret, and Session Timeout (seconds, range 0, 60 ~ 86400).
- Secondary Radius Server:** This section is also highlighted with a red box. It includes fields for IP Address, Port, Shared Secret, and Session Timeout (seconds, range 0, 60 ~ 86400).
- Access Policy:** Policy is set to 'Disable'. There is a field for 'Add a station Mac:'.
- Connections:** Maximum Station Number is set to 'Disable'.

At the bottom of the page, there are 'Apply' and 'Reset' buttons.

図 4-1 Wireless Security 画面

上図の赤枠内で示した項目が RADIUS 認証を利用するための設定となります。

以下に示すデフォルトは本体初期化後の値です。

4.1 Primary RADIUS Server

プライマリの RADIUS サーバーを設定します。

4.1.1 IP Address

プライマリの RADIUS サーバーの IP アドレスを指定します。必須項目です。

デフォルト: なし

入力制限: IPv4 アドレス形式のみ

4.1.2 Port

プライマリの RADIUS サーバーの UDP ポート番号を指定します。必須項目です。

デフォルト: 1812

入力範囲: 1～65535

4.1.3 Shared Secret

プライマリの RADIUS サーバーのシークレット文字列を指定します。必須項目です。

デフォルト: なし

入力制限: 64 文字以内の半角英数字および表示可能な記号 (但し ";" (セミコロン) と "," (コンマ) は除く)

4.1.4 Session Timeout

プライマリの RADIUS サーバーと認証確立後のタイムアウト値を設定します。必須項目です。

デフォルト: なし

入力範囲: 0,60～86400 (0 を指定した場合には無効を意味します。)

4.2 Secondary RADIUS Server

セカンダリの RADIUS サーバーを設定します。

セカンダリを設定しない場合には、以下の全ての項目を空白にして下さい。

4.2.1 IP Address

セカンダリの RADIUS サーバーの IP アドレスを指定します。必須項目ではありません。

デフォルト: なし

入力制限: IPv4 アドレス形式のみ

4.2.2 Port

セカンダリの RADIUS サーバーの UDP ポート番号を指定します。

デフォルト: なし

入力範囲: 1～65535

4.2.3 Shared Secret

セカンダリの RADIUS サーバーのシークレット文字列を指定します。

デフォルト: なし

入力制限: 64 文字以内の半角英数字および表示可能な記号 (但し ";" (セミコロン) と "," (コンマ) は除く)

4.2.4 Session Timeout

セカンダリの RADIUS サーバーと認証確立後のタイムアウト値を設定します。

デフォルト: なし

入力範囲: 0,60～86400 (0 を指定した場合には無効を意味します。)

5 接続例

下図では LAN 側に RADIUS サーバーを配置していますが、WAN 側に配置することも可能です。

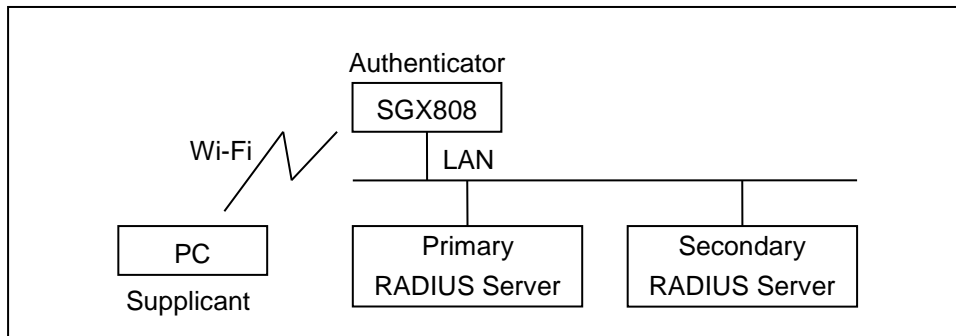


図 5-1 接続例

6 ログ

認証に失敗した場合には、以下のようなログを syslog に出力します。

成功時のログはありませんので、サーバーやクライアント側で確認して下さい。

認証エラーの場合：

```
Jan 1 08:06:45 SGX808 daemon.info rtdot1xd: RADIUS ACCESS_REJECT for STA(aa:bb:cc:dd:ee:ff)
```

タイムアウトした場合：

```
Jan 1 08:06:45 SGX808 daemon.info rtdot1xd: RADIUS timeout for STA(aa:bb:cc:dd:ee:ff)
```